



UMEX 夢っくす ニュース

かわらぼん

3月号

つなみ被災者救援コンサート

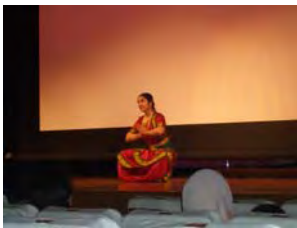
久保田豊昌



インドネシアの舞踊
メイティさん・レリザさん
エルマさん・マスタさん

一人の学生の「津波について、みんなに知らせてほしい」という一言が発端となり、2月5日にシンポジウムを開催しました。そして、発足したのが「スマトラ沖津波被災地と魚沼をつなぐ会」TUSOです。その活動の第一歩として、3月6日(日)に「つなみ被災者救援コンサート」を開催しました。

およそ、120名の方が参加し、さわらびホールで行われました。コンサートは午後2時、井口会長の挨拶で開幕し、つなみ被害報告のプレゼンテーションの発表により改めてその悲惨さを思い知らされました。次に、神秘的なインド舞踊、インドネシア舞踊、そして見てもやっても楽しいサルサダンス、すばらしいチェロの独奏、そしてビートの効いたバンド「ス



インドの舞踊
アディティさん



サルサダンス
ジェシーさん・レネさん
ルイスさん・アンドレアさん

イトホーム」の演奏と、学生の皆様方の手作りの催しが和やかに進み、楽しい2時間を過ごすことができました。

義捐金も一日で155,810円となり、それまでのものと合わせて218,431円になりました。

昨年、10月23日私たちは、突然の大震災を経験しました。その時、被災者の人々が手を取り合い、助け合い、乗り越えて行く姿がメディアに取り上げられました。それは、深々と降り積もる雪の中、厳しい自然の中で生きて行くすべとして、この地に遠い昔から脈々と受け継がれてきた、人の心がそうさせたのだと思います。

そして、2ヶ月後の12月26日今度は、遠い地のスマトラで地震と津波による大惨事がメディアから流れてきました。私たちも被災者です。だからこそ「心」が揺り動かされたのだと思います。

TUSOの活動目的は以下の4つです。

- ①この会の活動を身近な人たちに伝えること
- ②募金活動に協力すること
- ③募金活動の企画を提案し実施に協力すること
- ④その他、被災地と魚沼をつなぐためにできること

つまり、この魚沼の地に受け継がれている、人を愛し、助け合い、生きてゆくという「心」を表現することだと思います。

中越大震災の復興もまだこれからです。会の目的は、魚沼とスマトラ沖の被災地域を結び、共に復興して行くことです。

被災地からこられている学生の皆さんを通して、その「心」を遠い被災地に届けようではありませんか。

コンサートなどの大きなイベントだけでなく、たとえば集落や地域や学校で行われるイベントの時、紹介をしたり、募金コーナーを設けるなどでもいいと思います。心にとめ、その心を人に伝えて行くことが大切だと思います。

TUSOの活動が長く続き、そして広まり、この魚沼と津波被災地に平穏な日々が訪れ、そして、世界中が平和になるよう願っています。

ご協力をいただきました皆様方に深く感謝を申し上げます。



TUSO会長の久保田さん(中央)と出演者の皆さん!ご協力ありがとうございました。



チェロの独奏
松本 珠代さん



ロックコンサート
スイートホームの皆さん

母国紹介「トルコ」



2月22日（火）、サロンで母国紹介が行われ、トルガハンさん（右）とセダさん（左）が、母国であるトルコを英語と、日本語による通訳で紹介してくれました。

まず最初にトルコという国をおおざっぱに紹介し、続いて遺跡・奇岩・宮殿等の興味深い主要スポットを、流暢でユーモアたっぷりの日本語通訳を交えて、また、参加者の質問にも答えながら、紹介してくれました。残念ながらこのレポートでは皆さんには紹介できませんが、もし興味がありましたら、お二人にトルコのことを聞いてみてください。きっと喜んで教えてくれると思います。

ヨーロッパでもあり、中近東でもあり、そして懐かしいアジアの香りもする不思議の国トルコ。私もいつかは行ってみたい国の一つです。

最後に、サービス精神旺盛なお二人から魔よけ（？）のキーホルダーを参加者にプレゼントして母国紹介を締め括りました。

報告：佐藤 篤

山古志村長さんからお礼状が届きました。

この度の新潟中越地震により、我が山古志村は、村民全員が避難生活を送ることを余儀なくされました。

山古志村は起伏の激しい山間地で、道路が多数寸断され、また多くの家屋が倒壊し、生活を維持するには危機的な状況にあります。

失速の中であって、全国各地からの励ましのご声援、力強いご支援、多数の基金などを、多くの方々から賜り、感激の極みであります。本当に有難うございました。

復興は、まだまだ緒についたばかりです。これからも、皆様のお力をお借りしながら、村民一同「山古志村へ帰ろう」を合言葉に頑張る所存でございます。

あたたかいご支援に深く感謝しつつ、参上してお礼を申し上げるべきところ、失礼ではございますが書面にてお礼とさせていただきます。

平成十七年二月
新潟県山古志郡山古志村
山古志村中越地震対策本部
本部長 山古志村長 長島忠美

ベビーサロン送別会

今年のベビーサロンは年明けから雪の為になかなか集まる事ができずに残念に思っています。その上今月は転勤や帰国の為に3人のメンバーの方がベビーサロンを抜ける事となり大変寂しくなってしまいます。赤ちゃんがいるので全員が集まる事は難しかったですが、それでも短い間とはいえ、IUJで過ごした事はとても貴重な体験だったのではないのでしょうか？今後はベビーサロンのメーリングリストを作成中ですので、メールを使っての情報交換もやって行きたいと思っています。

（右の写真はスリランカのサクラさんの送別会の様子です。あいにくの雪で出席できない方もいらっしゃったのでささやかな送別会となりました。）

高橋 和子



がんばれ！山古志村



だき、お話をすることができました。同行の学生さんも山古志村のことを心配して、牛の角突きはいつから始まるのかなど聞いていました。

長島村長さんの言葉で印象に残ったのは「国や文化など違って、人の心は皆同じです」とおっしゃったことです。村民の生命と財産、未来まで自分の背に背負っただけの、人の心を引きつける魅力のある方だと、感じました。

会場はどこになるか分からないが、雪が消えたら、まず牛の角突きを再開すると力強く語っていました。その時は、みんなで見に行くことを約束して帰ってきました。

久保田 豊昌

昨年12月に開催した「中国文化講座」で皆様方よりお預かりした、中越地震の義捐金6万円を2月18日、山古志村へ届けてきました。

中国文化講座学生側の代表を務めたリンさん（中国）、昨年6月「魚沼ツアー」に参加し牛の角突きと一緒に観戦したジョージさん（フィリピン）、ミハイさん（ルーマニア）の3名が同行し、義捐金を長島忠美山古志村長さん、関正史村議会議長さんへ直接手渡すことができました。長島村長さんからは、皆様方のご厚意に対し、お礼の言葉をいただきました。お忙しい中、少し時間をいた

学生のジョージさん（写真中央）から義捐金を届けた感想が届きました。

Sympathy and Support to Yamakoshimura - Jorge H. Primavera

Last March 18, 2005, I, together with Lin-san, and Mihai-san, together with Kubota-san of UMEX, had the opportunity to convey IUJ's and UMEX's sympathies and support to the people of Yamakoshimura through a meeting with its town head, Nakajima-soncho.

Yamakoshimura is a mountain village in Niigata famous for its annual bullfighting festival and as a place where colorful and very expensive carps are grown. The recent earthquake has caused a lot of damage to the village and made it inaccessible as the road going there was destroyed.

The meeting took place at the government building temporarily occupied by the Yamakoshimura town officials, in Nagaoka City, just beside the Nagaoka City government building. There, we gave UMEX's token donation (gienkin in Nihongo) to Nakajima-soncho as our little way of showing our support to the village.

Nakajima-soncho updated us with the status of the village. He told us that all the residents have now moved to other places as the heavy snowfall has made access to the village impossible. At the time of the meeting, he said that snow in the village has reached more than three meters, so much higher than what we have in Urasa. The residents would be returning to their homes as soon as possible and hopefully return to their normal way of life. The bulls have been moved elsewhere, though we were sad to learn that some of them have died. Nakajima-soncho was very appreciative of our support and invited us to come and see the bullfighting event as soon as they can hold it again.

As the four of us had been to Yamakoshimura and seen the bullfighting event held there through a field trip organized by UMEX last June, we deeply condole with the residents as they go through many difficulties brought about by the recent earthquake. Yamakoshimura is a very beautiful mountain village. One thing I particularly remember about it is that its rice fields seemed to look like artificial rice fields because everything seemed to look perfectly planted and neatly arranged.

We hope that the bullfighting event can still continue despite of what has happened. The annual bullfighting event has been going on for at least a thousand years already and we know deep inside that not even an earthquake can make this cultural tradition disappear.

日本語クラスの紹介

大平 君子

今後の予定 **もう春ですね!**

「おはようございます。」「いい天気ですね。」「そうですね。」と元気な笑顔で挨拶を交わします。

インドネシアのモナさん、リアさん、ハルヒさん、ラタナさん、ラハミさんとスリランカのサクさんの6人のクラスです。でも常に小さな子供たちがいっしょです。多い時は6、7人いてとても賑やかです。赤ちゃんはいい子にできてびっくりします。

生徒の皆さんは、とても明るく積極的に学んでいます。大学で学ぶパートナーを支えながら、地震や大雪にもめげずに生活をしようとしています。授業は日本語の日常会話を中心にすすめています。実際に使われる場面設定を心がけ、絵やカードなどを用意して和やかな雰囲気をつくるように努めています。短期間のクラスなのですぐに共通理解をするために英語を使用しています。

そこで、お互いの国の文化や宗教による食生活の違いを知ったり、学ぶことがたくさんあります。

皆さんが一生懸命に声をだし、質問をする熱心さに感心しています。私もできるだけ手助けしたいと週一回のクラスを楽しみにしています。 大平 君子 (写真中央)



●母国紹介 (スリランカ)

3月の母国紹介はスリランカを取り上げます。講師はプリヤンカさんです。参加される方は、事前に下記までメールをお送り下さい。

開催日：3月25日 (金) 19:30-20:30

場 所：夢っくすサロン

問合せ：事務局 025-779-1439 / office@iuj.ac.jp

●春のバスツアー (信州安曇野)

留学生とのバスツアーを企画しました。

普段は限られた時間であわただしい交流になりがちです。一日ゆっくり学生たちとおしゃべりしながら信濃路の春を探しに行きませんか？

開催日：4月10日 (日)

集 合：午前8時 国際大学正面玄関前

行き先：信州安曇野 (大王わざび農場、碌山美術館ほか)

参加費：3500円

定 員：会員15名、学生25名

問合せ：久保田豊昌 090-5763-7903

●母国紹介 (ブルネイ)

4月の母国紹介はスリランカを取り上げます。講師はハイさんです。参加される方は、事前に下記までメールをお送り下さい。

開催日：4月15日 (金) 19:30-20:30

場 所：夢っくすサロン

問合せ：事務局 025-779-1439 / office@iuj.ac.jp

スキー&スノーボードレポート 平澤 文子



2月27日(日)、留学生11名とこのツアーを企画してくださった和田さん、久保田さん等、総勢18名で、車5台に乗り合い、越後湯沢町の中里スキー場に行ってきました。

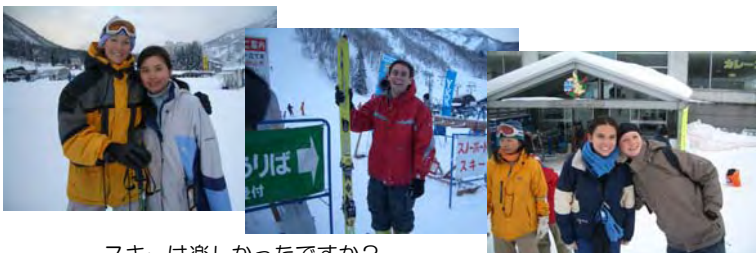
留学生は、今年初めてスキーやスノーボードを始めた人が多かったようですが、お昼を食べたあと待ちきれない様子で、それぞれゲレンデに繰り出して行きました。米国フロリダ大学からの交換留学生、Ms. Jamie Maggiore さん、9歳の甥と私の3人も、2時間以上一緒に滑

り、楽しい時間を過ごしました。

帰路、石打の温泉に立ち寄りゆっくりしたあと、塩沢町のお蕎麦屋さんで、へぎそばと天ぷらをおいしくいただき、IUJに到着したのは午後9時をまわっていたと思いますが、皆とても満足していたようです。

今回企画してくださった和田さん、久保田さん、本当にありがとうございました。また、国際大学にはSki & Snowboard Club というのがありますが、これは、10年ほど前に、一部の教員とスタッフが、IUJの学生、教職員、ご家族やその友人に、勉強や仕事の合間にSki やSnowboard を楽しんでもらい交流を深めていただこうと、スキートリップを企画し始めたのがきっかけで、毎年、メールで情報を流したり、いろいろなスキー場に行くようにしています。

IUJ Ski & Snowboard Clubとしても、春まで、学生と一緒にプランを立て、行けるときに、行ける人が気軽に参加できるようにしたいと考えております。UMEXの皆様のご協力をお願いすることもあろうかと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



スキーは楽しかったですか？

第2回チャリティーコンサート開催予定

スマトラ沖津波被災地と魚沼をつなぐ会では南魚沼市と共催で第2回チャリティーコンサートを企画しています。皆様のご来場お待ちしております。

日 時：4月23日 (土)

開 場：午後1時30分 (午後2時から午後5時30分)

場 所：南魚沼市民会館

入場料：1000円

出 演：被災国出身の国際大学学生による震災報告

民族舞踊 (インド、インドネシアの学生)

アマチュアバンド (国際大学学生、モッズライトキッズバンド)

今井 久 (パープルシャドウズ) 雪国ベンチャーズ
ゲスト：KONISHIKI、三浦和人

後 援：湯沢町、塩沢町、新潟県青年海外協力協会、雪国魚沼ロータリークラブ、湯沢ライオンズクラブ、塩沢ライオンズクラブ、六日町ライオンズクラブ、JAしおざわ、JA魚沼みなみ、湯沢町商工会、塩沢町商工会、六日町商工会、大和町商工会、六日町文化スポーツ振興公社、雪国青年会議所、うおぬま国際交流協会、国際大学

企 画：株式会社 エフエム雪国、株式会社 イーシー

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29 夢っくすサロン	30	31	4/1 夢っくすサロン	2
3	4	5 夢っくすサロン	6	7	8 夢っくすサロン	9
10 春のバスツアー	11	12 夢っくすサロン	13	14	15 19:30~20:30 母国紹介(ブルネイ)	16
17	18	19 夢っくすサロン	20	21	22 夢っくすサロン	23 第2回 チャリティコンサート
24	25	26 夢っくすサロン	27	28	29 夢っくすサロン	30

★★会員紹介コーナー★★

会員No. 232 今成 透さん

- ①ニュージーランド
- ②英会話、日本語（日本語チューターをしているので）
- ③カラオケ、クラシック音楽、卓球、釣り、スポーツ観戦、散歩、温泉入浴、料理 結構多趣味かな？
- ④多くの外国の方と英語で話したい
- ⑤日本語チューターを頑張ってます。
- ⑥できるかぎり、サロン、イベントに参加したい。

- ①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技
- ④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！



インドのアディティさん（左）と今成さん（右）

私たち結婚しました！
 武田里子さん（No.6）と堀江学（No.171）が3月3日にめでたくご結婚されました。会員同士のご結婚は初めてかな？おめでとうございます。



UMEX うおぬま国際交流協会

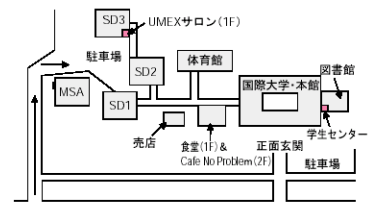
UONUMA Association for Multicultural EXchange



From 事務局

- 夢っくすでは毎年会員更新をお願いしております。4月末までに平成17年度会費を運営員にお渡しくださるか、郵便局口座にお振込み下さい。
- 会費：個人会員3,000円、家族会員1,500円
- 口座番号：00550-7-74672
- 口座名称：うおぬま国際交流協会
- この度、夢っくすで会員証を発行することとなりました。会員登録を更新された方には後日会員証をお送りしますので、サロンに来られる際にはご持参頂けますようお願い致します。
- 電子メールアドレスをご登録されてされている会員の皆様にはイベントなどのご案内を電子メールでもお送りしております。イベントなどの変更のご案内がかわらばんの発行に間に合わない場合には電子メールにてお知らせすることもありますので、電子メールをお使い会員の方は会員登録の更新時にアドレスのご登録をお願い致します。

〒949-7277
 新潟県南魚沼市国際町777番地
 国際大学内 UMEX事務局国際交流サロン
 TEL:025-779-1520/1439
 FAX:025-779-1180
 E-Mail: office@umex.ne.jp
 URL: http://www.umex.ne.jp/



担当者連絡先

サロン 坂西:025-777-3313 高橋:025-773-3123
 イベント 久保田:090-5763-7903
 多言語支援/外国語 柳瀬:025-792-0888 日本語 大平悦子:025-792-9840
 研修 井口:090-5329-8234 事業 武田:090-3648-4862
 広報 高津戸:090-3642-1041 事務局 武田:025-779-1439

【編集後記】

前回、私がかかわらばんを編集した時には中越地震からしばらく経ち、ようやく中国文化講座を開催できたことを書いたのですが、いまだまたスマトラ沖地震による津波被害に対する救援コンサートの記事を書いていて、被災された方々が元気になって頂けることを願わずにはられません。福岡県西方沖地震の状況も心配です。(toshi)